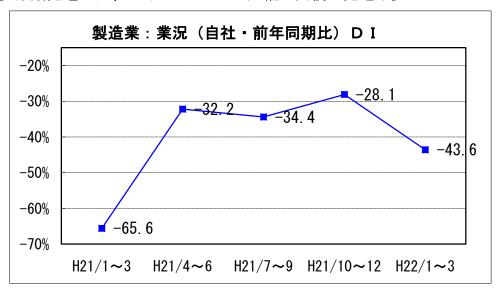
# 2. 製造業の動向

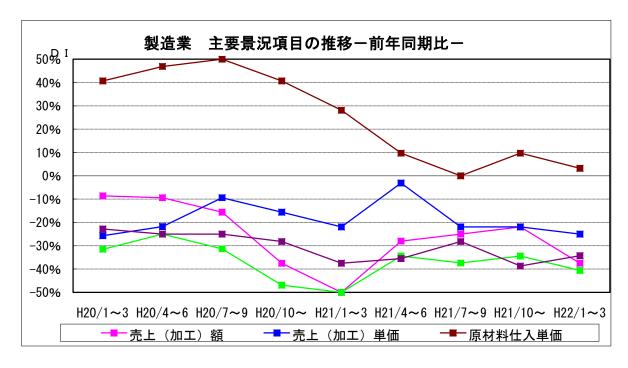
#### (1)業況概要(前年同期比)

今期の業況DI値は、マイナス 43.6。前期マイナス 28.1 に比べ 15.5 ポイント下降、大幅な悪化。来期見通しは、マイナス 32.2 と大幅に回復の見込み。



製造業の主要景況項目 DI 値の推移(前年同期比・%)

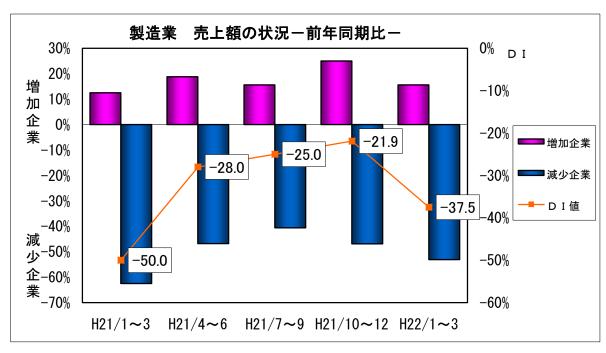
	前々期	前 期(A)	今 期(B)	今期と前期の差	来期
	(21年7月~9月)	(21年10月~12月)	(22年1月~3月)	(B) - (A)	見通し
売上(加工)額	<b>▲</b> 25. 0	<b>▲</b> 21. 9	<b>▲</b> 37. 5	<b>▲</b> 15. 6	<b>▲</b> 25. 0
売上(加工)単価	<b>▲</b> 21. 9	<b>▲</b> 21. 9	<b>▲</b> 25. 0	<b>▲</b> 3. 1	<b>▲</b> 18. 7
原材料仕入単価	0.0	9. 7	3. 2	<b>▲</b> 7. 7	6. 4
採算 (経常利益)	<b>▲</b> 37. 4	<b>▲</b> 34. 4	<b>▲</b> 40. 6	<b>▲</b> 6. 2	<b>▲</b> 32. 3
資金繰り	<b>▲</b> 28. 2	▲38. 7	<b>▲</b> 34. 3	<b>▲</b> 4.4	<b>▲</b> 21. 9



#### (2)主要項目の概況

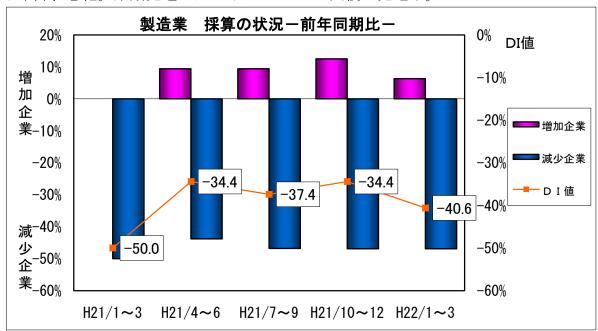
### ①売上(加工)額〈前年同期比〉

今期の売上(加工)額D I 値は、マイナス 37.5。前期マイナス 21.9 から 15.6 ポイント下降、大幅な悪化。来期見通しは、マイナス 25.0 と大幅に回復する見込み。



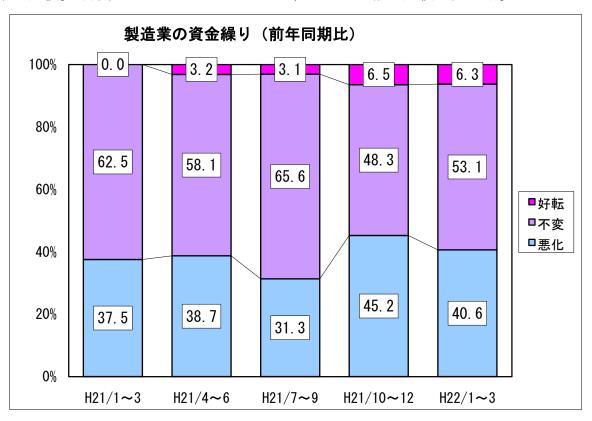
## ②採算(前年同期比)

今期の採算(経常利益)D I 値は、マイナス 40.6。前期のマイナス 34.4 から 6.2 ポイント下降、悪化。来期見通しはマイナス 32.3 と回復の見込み。



# ③資金繰り (前年同期比)

今期の資金繰りDI値は、マイナス 34.3。前期のマイナス 38.7 から 4.4 ポイント上昇、小幅な回復。来期見通しはマイナス 21.9 と、さらに大幅な回復の見込み。

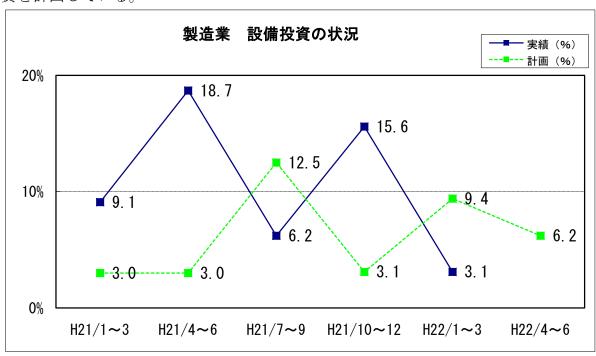


④設備投資

新規設備投資の状況

				投	資	内	容			
	あり	土地	工場	生産	車両・	付帯	OA	福利厚	その他	なし
			建物	設備	運搬具	施設	機器	生 施 設		
前期実施(実数)	5	0	1	0	2	0	1	0	1	27
(%)	15.6	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	20.0	84.4
今期実施 (実数)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	31
(%)	3.1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	96.9
来期計画(実数)	2	0	0	1	0	0	0	0	1	30
(%)	6.2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	93.7

今期設備投資を実施した企業は 1 社 (3.1%)。前期 (平成 21 年  $10\sim1$  2 月期)の実施企業 5 社 (15.6%) より 4 社減少。来期は 2 社 (6.2%) が、生産設備とその他への設備投資を計画している。



### ⑤経営上の問題点

今期、製造業が経営上の問題点として一位~三位にあげる項目は、

「需要の停滞」

・ 「製品(加工)単価の低下、上昇難」

「製品ニーズの変化」

「取引条件の悪化」

(前期 67.9%→今期 62.1%)

(前期 35.7%→今期 37.9%)

(前期 32.1%→今期 27.6%)

(前期 21.4%→今期 24.1%)

となっている。

